

女性ドライバー等が運転しやすいトラックのあり方検討会

第2回 検討会 議事概要

【資料1-1「自動車メーカー・架装メーカーへのヒアリング結果について」】

【資料1-2「テールゲートリフターを安全に使用するために」】

- ・テールゲートリフターは、後付けの補助金も出るようになった影響もあり導入が増加している。国から助成金が出ているものが災害を起こすことは良くないので、ぜひ、安全に使用するよう広めていただきたい。
- ・テールゲートリフターのストッパーは両サイドと後ろだけでなく、リフターの中央にもあると使い勝手が良い。
- ・実際の作業現場での使用方法がマニュアルにおける使用方法と乖離しているのは良くない。
- ・初心者でもわかりやすい仕様にしてほしい。具体的には、荷物の設置位置や人の立ち位置がわかるようなマーキングステッカーなどである。
- ・EUではマーキングステッカーなど、既に規定されているものもあるので、是非、日本でも導入してほしい。
- ・テールゲートリフターの安全確保と同時に、導入に際しては転落防止柵、マーキング、滑り止め、灯りなど、どのようなオプションがあるのか、そのメリットを示せるものがあれば良い。またそれが世界標準であれば推奨基準にする考えもある。
- ・ウィング車のあおりステップはオプションなのか。160cm位の女性だと中型車、大型車に乗りにくいのであおりにステップがあると良い。
- ・あおりステップは顧客により必要性も位置も違うためオプションとなっている。なお、テールゲートリフターに関連するものは基本的にオプションになっている。希望があれば柵、滑り止め、マーキング全て取り付け可能である。
- ・架装メーカーでは種々のオプションを用意されているが、ユーザーへはどのように伝えているのか。
- ・メーカーと相談しながら作るものと完全オーダーのものの2パターンがあるが、カタログに記載しているので、周知はきちんと図れていると思う。
- ・オプションについてはメーカーから何らかの基準を出してもらえると推奨をしやすい。是非、継続的に研究をしてもらいたい。

【資料2、3、4「ユーザーアンケートについて」】

○アンケートの実施方法について

- ・アンケートのスケジュールや対象はどうなっているか。
- ・対象は女性ドライバーが在籍している事業所を対象に、各県10社ずつ抽出しているところである。
- ・今月中に調査対象とアンケートを確定し、6月に発送、7月に回収、8月に集計、9月に報告を予定している。
- ・ドライバーアンケートは担当者に渡すことになっているが、回答内容が事業所に知られることに抵抗があるのではないか。
- ・本アンケートは秘匿性を要するものではなく、むしろ社内で情報を共有することが会社や業界を良くする性質のものではないか。また、このアンケートが社内のコミュニケーションにもつなが

るので、担当者に見られても問題はないと思われる。

- ・紙面アンケートの配布対象とならないところについても、WEB等を利用し広く意見収集することの一つかと考えている。

○ドライバーアンケート関係

- ・ドライバーの対象を分かり易くすべきである。
- ・「安全装置の必要性」については、既に義務化されているので問う必要はない。「安全装置」ではなく「運転支援装置」や「欲しい先進技術」といったような表現が相応しい。
- ・「小物入れ」については、トラックの大きさによっても違うし、入れる物（ドリンクやヘルメット等）によっても違う。
- ・ドライバーアンケートに経験年数、荷役形態と運行形態を加えてはどうか。
- ・各設問で総合的な評価を求めているが評価しにくいのではないか。課題のあるものに○をつける方式の方が回答しやすいのではないか。
- ・質問項目を検討する。

○事業者向けアンケート関係

- ・ドライバー用と事業所用で品目と荷役の質問が重複しているので、整理が必要。
- ・「お客様の庭先」は「発荷主の庭先」か「着荷主の庭先」かがわかるようにしてほしい。
- ・保有車両数に「合計台数」を追加してほしい。
- ・「安全装置」の関係はドライバーアンケート同様「運転支援装置」を検討してはどうか。
- ・質問項目を検討する。

○女性職員向けアンケート関係

- ・女性職員へアンケートを行う理由は何か。
- ・目的は女性ドライバーを増やすために意識を把握することだが、そもそも前回の検討会での意見を反映して追加している。
- ・問3「⑧運転免許の資格」の意味がわかりにくい。
- ・問3「⑭交通事故・労働災害への不安」は分けて「⑭交通事故への不安」「⑮労働災害への不安」にしたほうが良い。

○その他

- ・修正案については、委員の意見を確認し確定する方向で進めてもらいたい。

【その他】

- ・次回の検討会はアンケート集計後のため、追って事務局から日程調整する。

以上